

未来に残したい
佐渡がある



日本最大の露頭掘り跡「道遊の割戸」(相川金銀山)



銀の採掘が行われた「大滝間歩」(鶴子銀山)



明治初期に完成した日本初の西洋式垂直坑道「大立堅坑」(相川金銀山)



明治以降、鉱石や物資の搬出入に使われた「大間港」(相川金銀山)



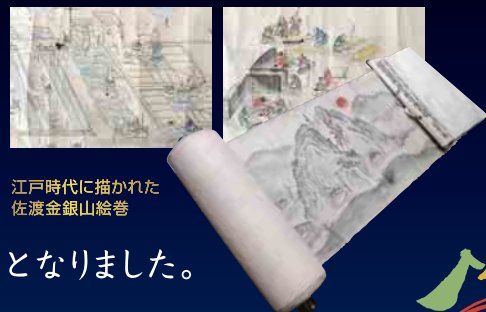
昭和初期に建設された金銀回収施設「北沢浮遊選鉱場」(相川金銀山)



山肌を掘り崩して砂金を採取した「虎丸山」(西三川砂金山)

佐渡金銀山を世界遺産に

佐渡には、600年にも及ぶ金銀採掘・製錬に関連する遺跡や建造物・景観が良好に保存されています。佐渡は、中世から近代に至る各時代の鉱山技術を見ることができる島であり、世界的にも貴重な存在です。佐渡金銀山は、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の名称でユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載され、正式に世界遺産候補となりました。



江戸時代に描かれた佐渡金銀山絵巻

新潟県と佐渡市は佐渡金銀山の世界遺産登録に取り組んでいます

新潟県教育庁文化行政課 世界遺産登録推進室 ☎025-280-5726 佐渡市世界遺産推進課 ☎0259-63-5136 佐渡を世界遺産に

